

# 令和7年度の気象状況、 および新しい防災気象情報

令和7年度神奈川県大規模氾濫減災協議会  
横浜地方気象台



歩み続けて150年  
防ぐ災害・守る未来

横浜地方気象台



## ○2005年夏の気象について

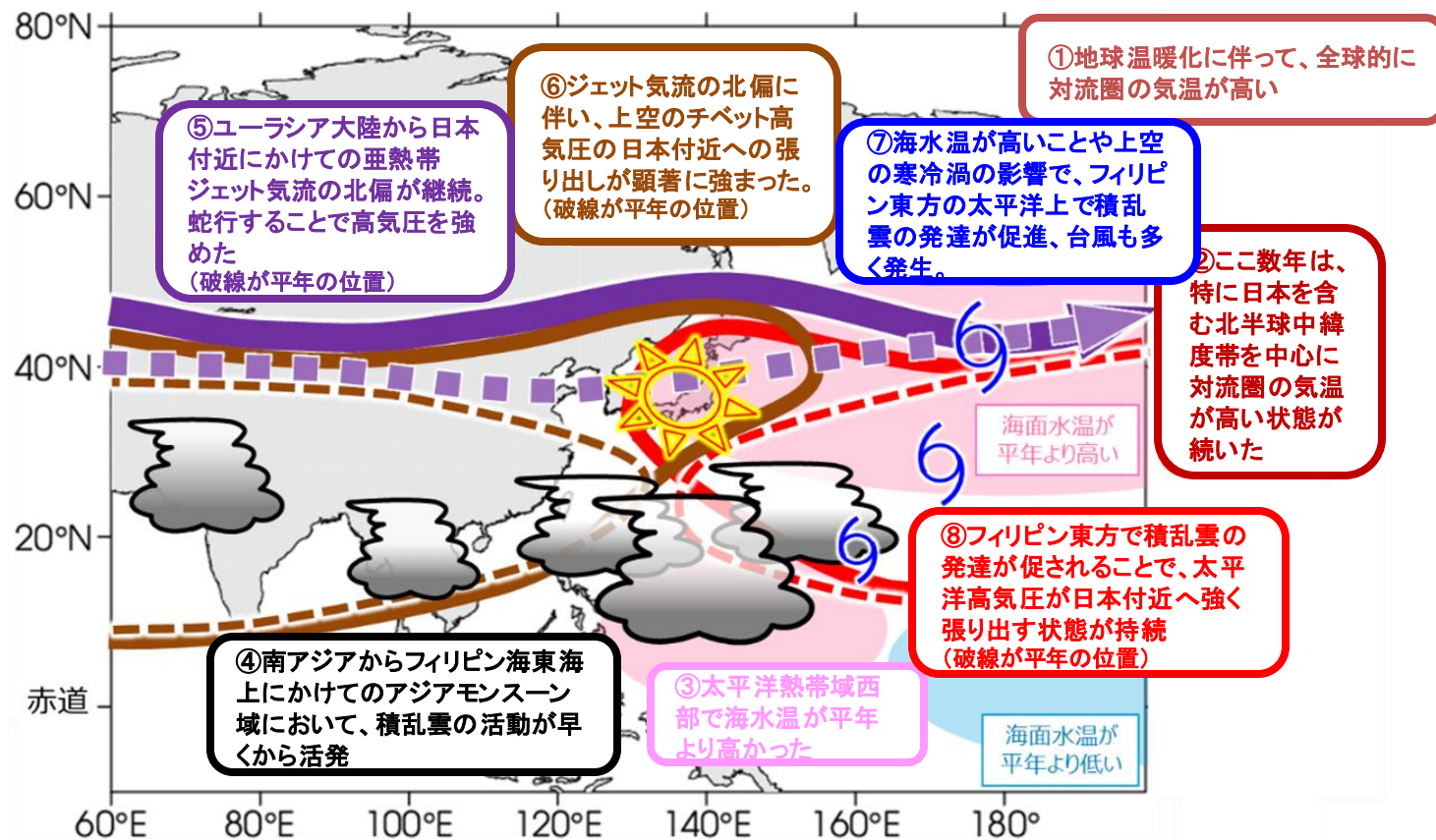
- 2025年夏の記録的な高温と7月の少雨の特徴
- 2025年夏（6月～8月）の天候
- 特徴的な顕著現象（台風第15号）

## ○令和8年出水期からの防災気象情報の改善について

# ○ 2025年夏の気象について

横浜地方気象台

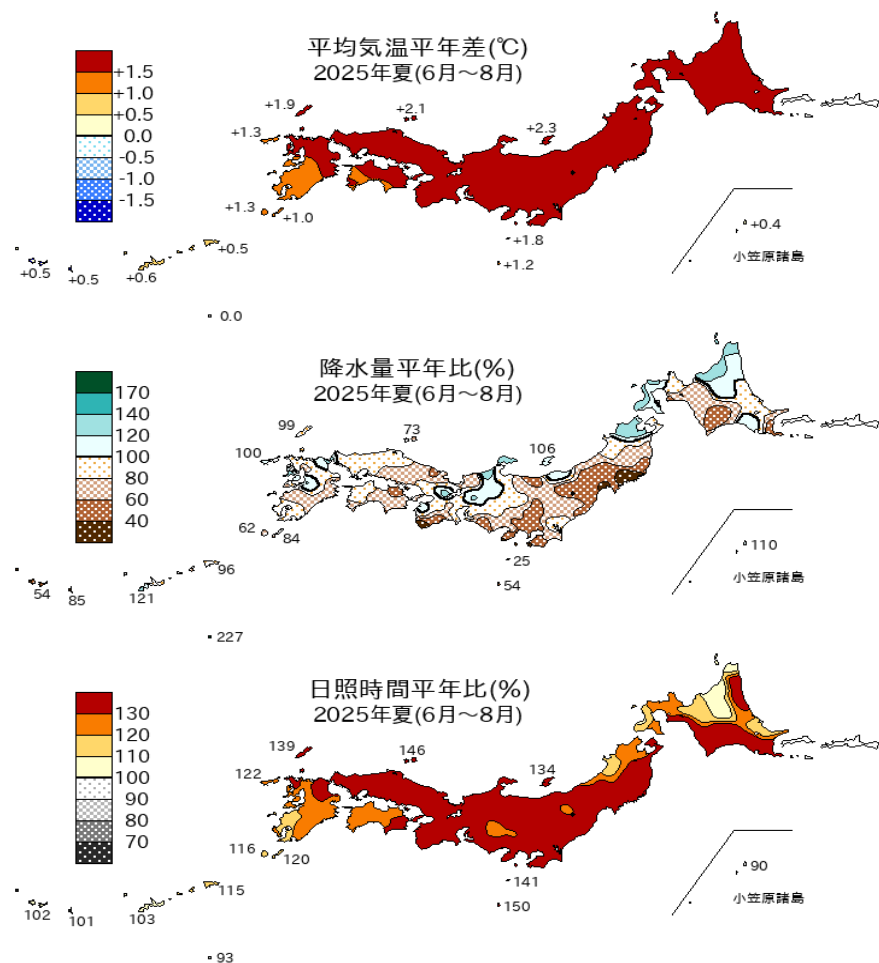
# 2025年夏の記録的な高温と7月の少雨の特徴



上図の状況により、

- 日本の夏平均気温偏差は、昨年、一昨年の記録を大幅に上回り、3年連続で最も高い記録となった。
- 歴代最高気温を観測し、猛暑日や40℃以上の延べ地点数の記録も更新した。
- 多くの地方で過去最も早い梅雨明けとなるなど季節進行が早く、7月は北陸地方を中心に記録的な少雨となった。

# 2025年夏（6月～8月）の天候



## 日最高気温（高い方）の極値の更新状況

地点名	日最高気温			これまでの観測史上1位	
	気温(℃)	月日	時分	気温(℃)	年月日
海老名	39.9	8月5日	13:14	38.1	2016/8/9
横浜	38.1	8月6日	14:13	37.4	2016/8/9
辻堂	37.1	8月3日	12:48	37	2024/8/15
小田原	39.2	8月6日	12:52	38	2023/8/4
三浦	36.8	8月6日	12:59	36.4	2004/7/21

## 日最低気温（高い方）の極値の更新状況

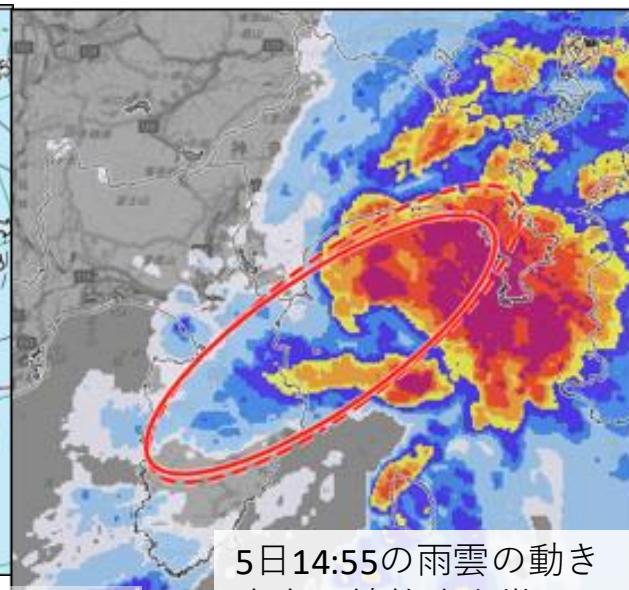
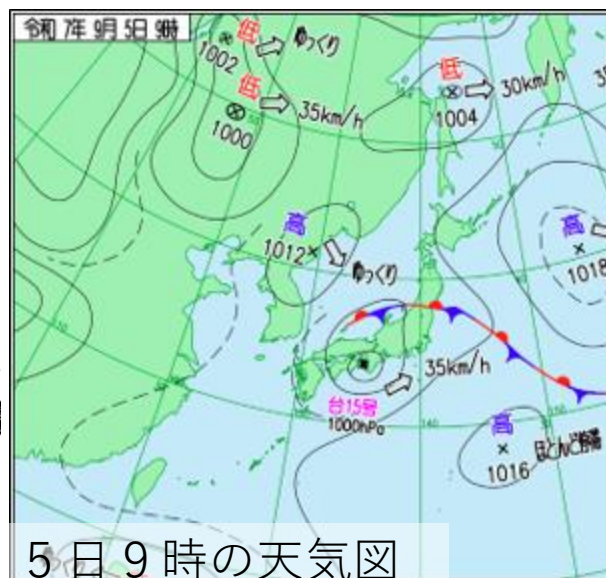
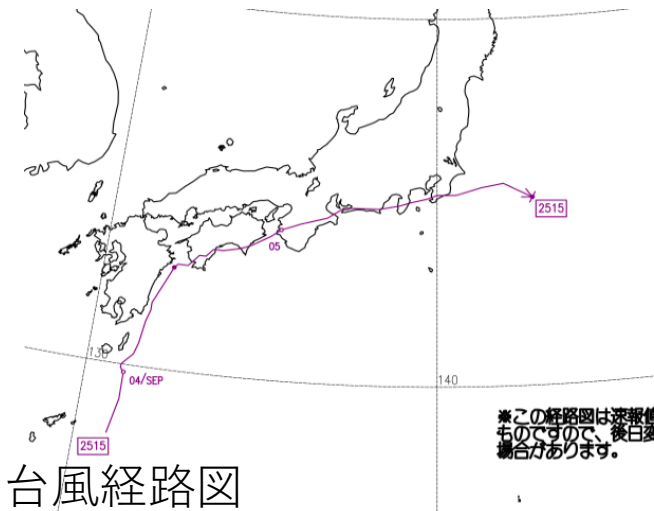
地点名	日最低気温			これまでの観測史上1位	
	気温(℃)	月日	時分	気温(℃)	年月日
海老名	28.2	8月6日	5:09	28.2	1997/8/10
横浜	29.2	8月6日	20:37	29.2	2024/7/29
辻堂	28.6	8月7日	2:33	28.4	2013/8/11
小田原	28.6	8月5日	2:33	28.2	2024/9/21
三浦	27.8	8月6日	5:02	27.8	2024/8/12

1位更新

1位タイ

- 気温は、北・東・西日本でかなり高かった。日本の夏の平均気温は最も高かった
- 降水量は、北・東日本太平洋側でかなり少なかった
- 日照時間は、北・東・西日本日本海側と北・東・西日本太平洋側でかなり多かった

# 特徴的な顕著現象（台風第15号）



5日県内の地域別30分毎の前1時間降水量（解析雨量）推移

神奈川県	2025/09/05 (JST)																
	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18
東部																	
横浜・川崎	1	2	9	10	13	14	13	11	8	12	12	7	9	10	11	10	13
湘南	2	6	12	13	13	15	15	11	9	7	9	8	9	14	13	10	11
三浦半島	1	19	26	16	15	14	17	14	25	26	26	9	14	22	24	11	11
西部																	
相模原	1	2	5	6	8	12	11	11	15	13	14	12	16	16	13	19	28
県央	1	2	7	11	10	14	15	12	18	18	13	8	13	15	11	17	26
足柄上	1	6	11	14	16	18	15	16	19	16	15	18	16	17	13	20	31
西湖	1	8	13	20	19	18	14	22	19	13	8	11	11	9	14	20	18

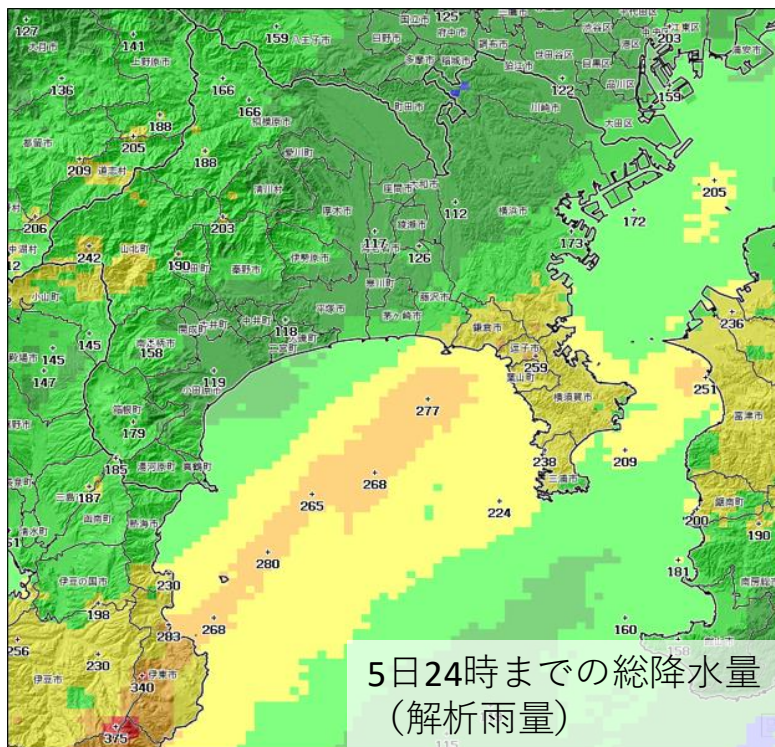
顕著な大雨に関する神奈川県気象情報 第1号  
令和7年9月5日15時27分 横浜地方気象台  
発表

（見出し） 神奈川県東部では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ土砂災害や洪水による災害発生の危険度が急激に高まっています。

（本文） なし

神奈川県では台風が紀伊半島に接近した5日明け方から雨が強まり、昼過ぎから夕方は局地的に1時間に50mmを超える非常に激しい雨が降った。昼過ぎには神奈川県で初めて線状降水帯が発生し、15時27分に「顕著な大雨に関する神奈川県気象情報」を発表した。<sup>6</sup>

# 特徴的な顕著現象（台風第15号）



## 〔雨の実況〕

降り始め（4日09時）から5日22時までの  
降水量（アメダスによる速報値）

山北町丹沢湖	207.0ミリ
箱根	171.5ミリ
藤沢市辻堂	171.0ミリ
三浦	167.0ミリ
横浜市中区山手町	164.5ミリ
相模原市相模湖	153.0ミリ
海老名	107.5ミリ
小田原	106.0ミリ
横浜市港北区日吉	95.5ミリ
平塚	74.5ミリ

藤沢市辻堂では、24時間降水量が9月の観測  
史上最大となりました。

～5日22時42分 府県情報第10号（終）より～

神奈川県の下り始め（9月4日09時）から9月5日18時までの総降水量は、県内の  
多くのアメダス観測地点で150mmを超え、山北町丹沢湖では平年の8月1か月の降水量  
（236.1mm）に近い207.0mmを観測した。

また、辻堂では、9月5日の日降水量が171.0ミリとなり、9月の極値を更新した。

# 特徴的な顕著現象（台風第15号）



## （２）神奈川県気象情報

発表時刻	情報の名称、番号
2025/9/3 16:56	発達する熱帯低気圧に関する神奈川県気象情報 第1号
2025/9/4 6:40	令和7年 台風第15号に関する神奈川県気象情報 第2号
2025/9/4 16:34	令和7年 台風第15号に関する神奈川県気象情報 第3号
2025/9/5 2:30	令和7年 台風第15号に関する神奈川県気象情報 第4号
2025/9/5 6:23	令和7年 台風第15号に関する神奈川県気象情報 第5号
2025/9/5 11:34	令和7年 台風第15号に関する神奈川県気象情報 第6号
2025/9/5 14:52	令和7年 台風第15号に関する神奈川県気象情報 第7号（図）
2025/9/5 15:27	顕著な大雨に関する神奈川県気象情報 第1号
2025/9/5 16:13	令和7年 台風第15号に関する神奈川県気象情報 第8号（図）
2025/9/5 16:58	令和7年 台風第15号に関する神奈川県気象情報 第9号
2025/9/5 22:42	令和7年 台風第15号に関する神奈川県気象情報 第10号

## （３）竜巻注意情報

発表時刻	情報の名称、番号
2025/9/5 13:43	神奈川県竜巻注意情報 第1号
2025/9/5 14:33	神奈川県竜巻注意情報 第2号
2025/9/5 15:27	神奈川県竜巻注意情報 第3号

## （４）神奈川県土砂災害警戒情報（神奈川県と共同発表）

発表時刻	番号	警戒対象地域	警戒解除地域
2025/9/5 13:05	第1号	鎌倉市* 逗子市* 葉山町*	
2025/9/5 13:25	第2号	横浜市南部* 鎌倉市 逗子市 葉山町	
2025/9/5 13:45	第3号	横浜市南部 横須賀市* 鎌倉市 小田原市* 逗子市 三浦市* 葉山町 真鶴町* 湯河原町*	
2025/9/5 14:00	第4号	横浜市南部 横須賀市 平塚市* 鎌倉市 藤沢市* 小田原市 逗子市 三浦市 葉山町 大磯町* 二宮町* 中井町* 大井町* 真鶴町 湯河原町	
2025/9/5 14:10	第5号	横浜市北部* 横浜市南部 横須賀市 平塚市 鎌倉市 藤沢市 小田原市 茅ヶ崎市* 逗子市 三浦市 秦野市* 伊勢原市* 南足柄市* 葉山町 大磯町 二宮町 中井町 大井町 松田町* 山北町* 箱根町* 真鶴町 湯河原町	
2025/9/5 15:45	第6号	横浜市北部 横浜市南部 横須賀市 平塚市 鎌倉市 藤沢市 茅ヶ崎市 逗子市 三浦市 秦野市 伊勢原市 葉山町 大磯町 二宮町	小田原市 南足柄市 中井町 大井町 松田町 山北町 箱根町 真鶴町 湯河原町
2025/9/5 16:10	第7号	横浜市北部 横浜市南部 横須賀市 鎌倉市 藤沢市 逗子市 三浦市 葉山町	平塚市 茅ヶ崎市 秦野市 伊勢原市 大磯町 二宮町
2025/9/5 16:35	第8号	横浜市南部 横須賀市 鎌倉市 藤沢市 逗子市 三浦市 葉山町	横浜市北部
2025/9/5 17:10	第9号	横須賀市 鎌倉市 逗子市 三浦市 葉山町	横浜市南部 藤沢市
2025/9/5 18:30	第10号	鎌倉市 逗子市	横須賀市 三浦市 葉山町
2025/9/5 19:45	第11号		鎌倉市 逗子市

※赤字は新たに警戒対象となった市町村

気象台では、警報注意報の他、神奈川県気象情報や竜巻注意情報、土砂災害警戒情報などを発表し注意、警戒を呼びかけた。また、台風説明会や防災メール、ホットラインや県への解説を通じ、県内各市町村への支援を行った。



県での気象解説

# ○ 令和8年出水期からの防災気象情報 の改善について

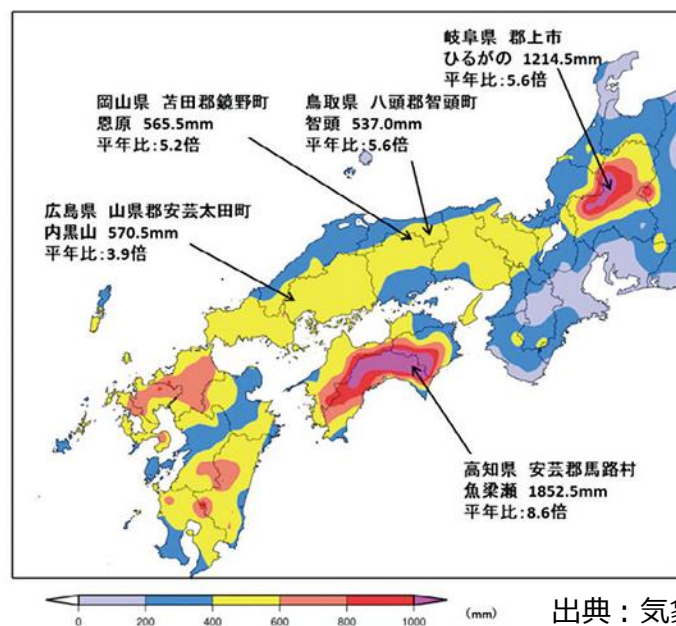
横浜地方気象台



- 「防災気象情報に関する検討会」の最終とりまとめ（令和6年6月）を踏まえた**新しい防災気象情報の運用を令和8年出水期から開始する予定**です。
- 新しい防災気象情報では、**住民の避難行動に対応した5段階の警戒レベルに整合させ、災害発生危険度の高まりに応じて各情報を発表**します。
- この方針のもとで、**情報名称の変更、警戒レベル4相当となる危険警報の新設、洪水関係の情報変更、気象防災速報の新設**など、現行の大雨警報・注意報などの気象庁が発表する防災気象情報が大きく変わります。

河川の氾濫、浸水害、土砂災害等が発生し、死者、行方不明者200名を超える、非常に大きな人的被害を伴う豪雨災害となった。

6月28日から7月8日までの総降水量  
(アメダス) とその期間での降水量平年比



出典：気象庁「気象業務はいま 2019」

岡山県倉敷市真備町上空から見た浸水状況



## 平成30年7月豪雨での課題

**課題1** 気象庁(気象台)や河川・砂防部局等が伝えたい危機感等が、住民等に十分に感じてもらえていない

**課題2** 防災気象情報を活用しようとしても、使いにくい

**課題3** 気象庁の発表情報の他にも防災情報が数多くあり、それぞれの関連が分かりにくい

**課題4** 特別警報の情報の意味が住民等に十分理解されていない

平成30年12月の中央防災会議

「平成30年7月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ報告書」より

## 目指す社会として

住民は・・ **「自らの命は自らが守る」意識を持つ**

災害時には自らの判断で適切に避難行動をとる。

行政は・・ **住民が、適切な避難行動をとれるよう全力で支援する**

災害時には避難行動が容易にとれるよう、防災情報をわかりやすく提供する。



## 住民の行動を支援する防災情報を提供

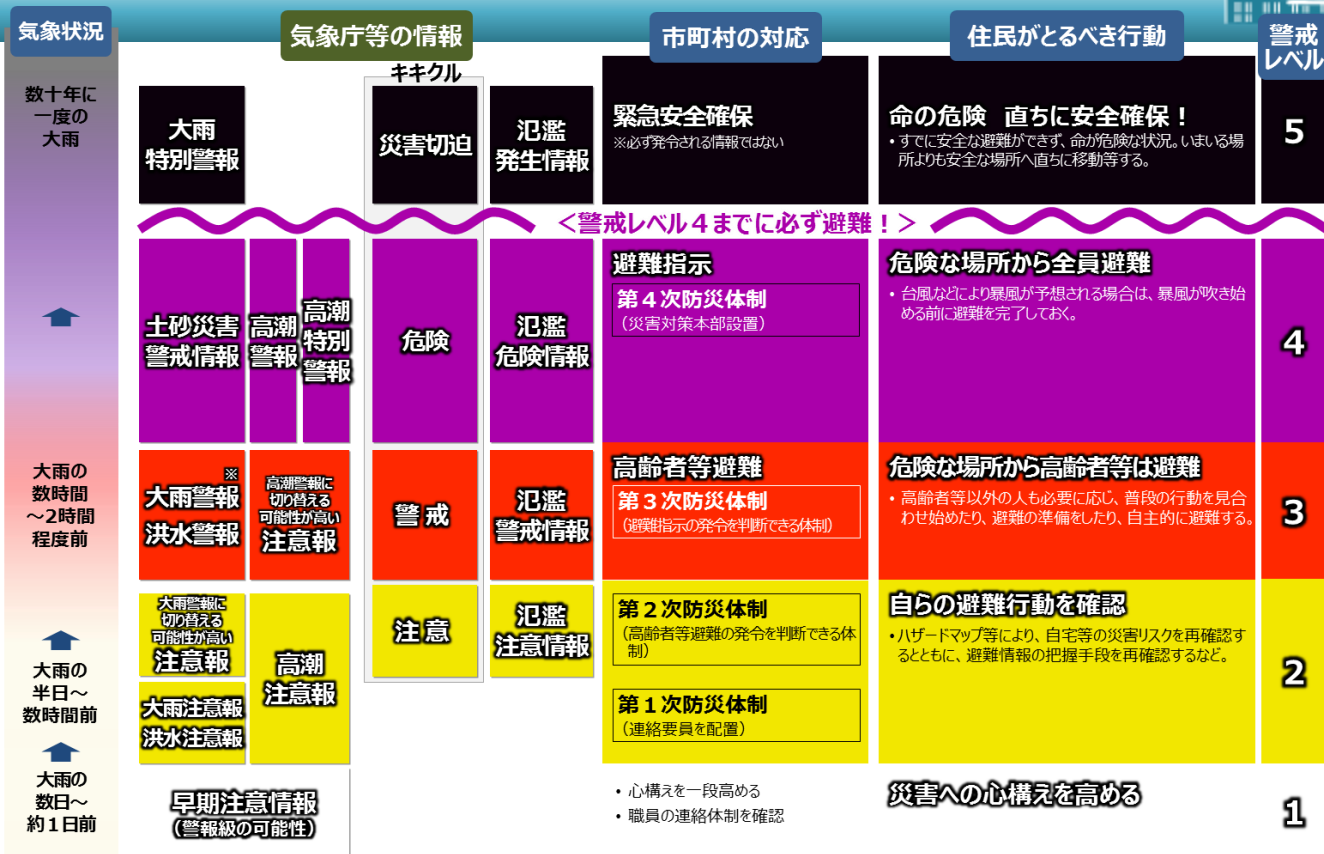
防災情報を **5段階の警戒レベルにより提供** することなどを通して、  
受け手側が情報の意味を直感的に理解できるような取り組みを推進



**「避難勧告等に関するガイドライン」（内閣府）  
に定義**

平成31年3月29日 内閣府ホームページにて公表

# 現在の主な防災気象情報と警戒レベルの関係



※ 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3(高齢者等避難)に相当します。

「避難情報に関するガイドライン」(内閣府)に基づき気象庁において作成

警戒レベルとの対応関係が整理されてはいるものの、次のような課題があつてとても分かりにくい。

- 情報名称がバラバラで、どのレベルに相当する情報なのか非常にわかりづらい
- 警戒レベル4相当の情報がないものがある(洪水・大雨浸水)
- 特別警報と警報が同じ警戒レベル4になっている(高潮)
- 高潮注意報がレベル2とレベル3相当に分かれている(高潮)
- 同じ警報が異なる対象災害を兼ねている(大雨警報が土砂災害と浸水害を兼ねるなど)

課題解決に向け、「防災気象情報に関する検討会」で議論

# 新しい防災気象情報（R8出水期から運用開始予定）

- 防災気象情報（大雨浸水、河川氾濫、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表。**（例：レベル4大雨危険警報 等）
- 情報と対応する防災行動との関係が明確に。（レベルの数字で、とるべき行動が分かる！）

## 新しい防災気象情報の情報体系とその名称

	大雨浸水 低地の浸水や 小さな河川の氾濫	河川氾濫 1級河川などの 大きな河川の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 高波による浸水	住民が とるべき行動
5	レベル5 大雨特別警報	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
4	レベル4 大雨危険警報	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
3	レベル3 大雨警報	レベル3 氾濫警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
2	レベル2 大雨注意報	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
1	早期注意情報				災害への心構えを高める

※情報名称の最終決定は、法制度などとの関係も踏まえ、気象庁・国土交通省が行う



## 気象情報（解説情報）の体系整理

### ◎ 情報の性質を把握できるよう分類して提供

- これまでいくつかの種類の「気象情報」として伝えていた情報は、線状降水帯をはじめとした具体的な極端現象が発生または発生しつつある場合にその旨を伝える「極端な現象を速報的に伝える情報」と、現在及び今後の気象状況等を網羅的に伝える「網羅的に解説する情報」に分類して提供。
- それぞれの区別がつくよう統一的な情報名称とし、「線状降水帯」などのキーワードを付すことにより情報へのアクセスを改善。

#### 極端な現象を速報的に伝える情報・・・「気象防災速報」

現在

整理後

記録的短時間大雨情報

気象防災速報（記録的短時間大雨）

顕著な大雨に関する気象情報

気象防災速報（線状降水帯発生）

線状降水帯 2～3 時間前予測  
(R8運用開始予定)

気象防災速報（線状降水帯予測）

顕著な大雪に関する気象情報

気象防災速報（短時間大雪）

竜巻注意情報

気象防災速報（竜巻注意/竜巻目撃）

#### 網羅的に解説する情報・・・「気象解説情報」

現在

整理後

線状降水帯半日前予測

気象解説情報（線状降水帯予測）

全般台風情報

気象解説情報（台風第○号）

全般/地方/府県気象情報

気象解説情報（●●●）

※何に着目した情報なのかがわかるよう、括弧内にキーワードを付す。

防災気象情報に関する検討会 最終取りまとめ（概要）より

## ●2025年夏の気象について

- 記録的な高温と7月の少雨
- 台風第15号では、県内初の線状降水帯発生

## ●防災気象情報の改善について

- 防災気象情報を発表・伝えるに当たっての現状の課題
- 情報体系の整理
- 多種ある気象情報の再分類

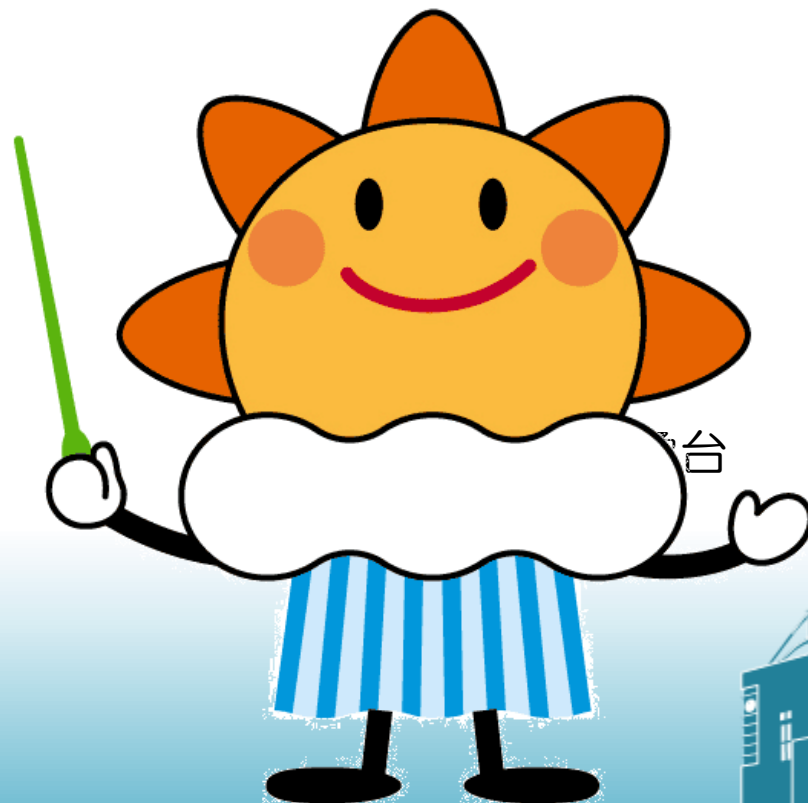
⇒引き続き、連携して取り組んでいきたい

ご清聴ありがとうございました。



歩み続けて150年  
防ぐ災害・守る未来

横浜地方気象台



台